

第 27 回シクロデキストリンシンポジウム報告

前学会長の原田明先生（大阪大学）からの強いご要望にお応えして、小生が第 27 回シクロデキストリンシンポジウムを平成 22 年 9 月 6・7 日に金沢市文化ホールで開催させて頂きました。企画段階では 9 月上旬の時期は台風の襲来が少し心配されましたが、幸いにも会期中は好天に恵まれ、お陰さまで 173 名もの参加者をお迎えすることが出来ました。

シンポジウム初日には総会で平成 22 年度シクロデキストリン学会賞ならびに奨励賞の授与式が行われ、引き続き受賞講演が行われました。学会賞を受賞された秋田大学・浜井三洋先生には「シクロデキストリンの多成分包接錯体における包接モード」と題して永年に亘る基礎研究の成果をご披露頂き、また奨励賞を受賞された京都大学・寺尾 潤先生からは「完全メチル化シクロデキストリンにより被覆されたポリロタキサンの合成とその分子エレクトロニクスへの応用」と題した将来期待される先端応用の可能性を、シクロケム・中田大介先生には「 γ -シクロデキストリンによるコエンザイム Q10 の特性改善」と題して QOL に貢献する CD 活用についてご講演を頂きました。

シンポジウム 2 日目には、4 年前に開催されました第 24 回シンポジウムの折に小生へ招待講演の機会を頂戴しました時の実行委員長で前々学会長を務められた東京大学・小宮山眞先生に招待講演をお願いしまして、先生からは「分子インプリント法によるシクロデキストリン規則集合体の調製」という題目で昨今の分子インプリントに関する研究動向や先生ご自身の研究展開を熱く語って頂きました。

一般発表としては、口頭発表 21 件、ポスター発表 66 件の研究発表をして頂きました。ポスター発表では対象応募発表 30 件から 6 件のポスター賞を 18 名の選考委員の先生方の採点をもとに選考し、懇親会席上で表彰状と副賞が現学会長の谷本敏子先生（武庫川女子大学）より授与されました。受賞されました今井拓也さん（宇都宮大学）、小林愛雲さん（宇都宮大学）、高島義徳先生（大



口頭発表会場風景

阪大学)、平塚雅章さん(熊本大学)、三浦崇資さん(大阪大学)、藁谷美香さん(千葉大学)(以上、五十音順)、どうもおめでとう御座いました。更なる研究のご発展を祈念しております。

9月上旬の金沢は夏の暑さの余韻が十分に汗ばむ程でしたが、それにも増して参加者の方々による研究討論の熱気で会場が包まれていました。会場の金沢市文化ホールは前田利家公が祭られている尾山神社のすぐ前に位置し、日本三名園に数えられている兼六園や近年整備が進んでいる金沢城公園にも近く、参



ポスター発表会場風景

加者の方々には昼休みの1時間以内に観光も十分に満喫できたのではないかと推察しております。また金沢市の台所と呼ばれる近江町市場や繁華街も数分間の場所でしたので、夜遅くまで北陸の味覚をご堪能頂けたものと想像しております。なお、来年度の第28回シクロデキストリンシンポジウムは濱田文男先生(秋田大学)を実行委員長として9月8・9日の日程で秋田ビューホテルにて開催されることが懇親会席上で紹介されました。

この度のシンポジウム開催の機会を頂戴しました原田先生、ならびに4年前にシクロデキストリン学会をご紹介頂きました小宮山先生に、改めまして厚く御礼申し上げます。また今回の開催に際しては、関連団体企業各社(日本シクロデキストリン工業会、江崎グリコ(株)、塩水港精糖(株)、(株)N. S. ラボ、(株)シクロケム、帝國製薬(株)、東京化成工業(株)、日本食品化工(株)、メイワフォーシス(株)、湧永製薬(株))に多大のご支援を頂戴しましたことを申し添え、ここに深謝申し上げます。最後になりましたが、本学会経験の未熟な小生に対してシンポジウムの企画運営全般にわたり懇切丁寧にご指導頂きました第26回シクロデキストリンシンポジウム実行委員長で現副会長の池田幸先生(宇都宮大学)に心より感謝申し上げます。

由井 伸彦 (東京医科歯科大学・生体材料工学研究所)